

高久委員御意見

後期高齢者医療の在り方について（検討のたたき台）

1) 後期高齢者の心身の特性, 2) 基本的な視点, 3) 後期高齢者医療における課題, 4) 後期高齢者にふさわしい医療の体系, に関してたたき台に述べられていえる点については基本的に賛成である。只問題は4)の医療の体系を如何にして実現していくかである。特に2)の在宅（及び居住系施設）を重要視した医療の中のかかりつけ医による訪問診療が問題である。この懇談会で川越先生の立派なお仕事をお伺いする事が出来たが、問題は川越先生がやっておられる様な在宅訪問診療を我が国全体としてどの程度まで広げる事が出来るのか、又その方策としてどの様な事が考えられるかである。同様な事が高齢者医療における医療連携についても言える。片山先生からお伺いした尾道市の様な形をどの様にして日本全体に広げていくかが課題である。次の後期高齢者を総合的に診る医師に関しては、かかりつけ医による在宅訪問診療を重視するならば、日本医師会の「生涯教育制度」を強化する事が必要であろう。